

料金表



欠け



ひび



割れ

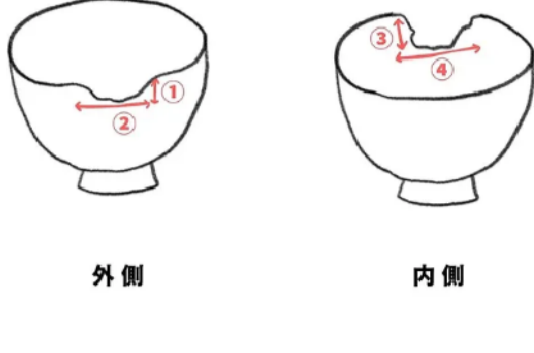
チルコロでは仮見積もりをお客様にさせていただいております。本見積もりの前におおよその金額を知りたい方は、以下の測り方・料金表を参考にしてください。

修理品1つにつき、最低金額は3,300円となります。

※複合的な破損(割れ、欠け、ひびなどが混合している器)の場合は、ご相談ください。

欠け

修理部分の測り方



外側

内側

欠けた箇所が収まる「四角い枠」の面積を内側と外側、両方とも測り、その面積の合計から料金を出します。(縦×横)

〈外側：①×②〉+ 〈内側：③×④〉

欠けが複数ある場合は、それぞれの金額を出した後、全ての金額を合計します。

欠けが複数ある場合は、2つ目以降から1箇所に欠けにつき1,100円を値引きさせていただきます。

PRICE / 欠けの料金表 ※送料は別途かかります。

金・プラチナ(消し粉)

欠けのサイズの合計	25ml以下・・・¥3,300
	100ml以下・・・¥4,400
	225ml以下・・・¥5,500
	400ml以下・・・¥6,600
	600ml以下・・・¥7,700
	800ml以下・・・¥8,800

金(丸粉) / 上記価格+50%

銀(消し粉) / 上記価格 -15%

銀(丸粉) / 上記価格

弁柄、黒漆 / 上記価格 -15%

色漆 / 上記価格 +15%

<例>

修理内容：欠け2箇所、仕上げ：金消し粉

1箇所目→外側：縦4mm、横6mm 内側：縦3mm、横4mm

2箇所目→外側：縦6mm、横8mm 内側：縦2mm、横3mm

<料金シミュレーション>

※それぞれの欠けの金額を出した後、合計します。

※欠けが2箇所あるので、1箇所は1,100円の値引きになります。

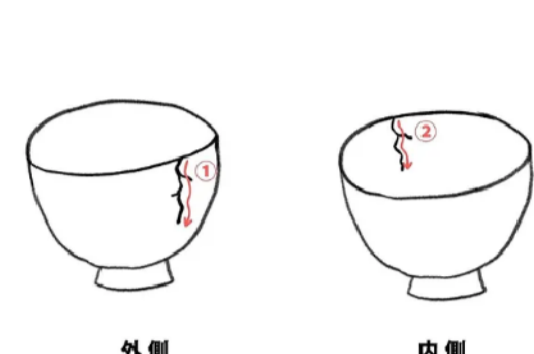
1箇所目：〈外側：4mm×6mm〉+ 〈内側：3mm×4mm〉=12mm+24mm=36mm→●4,400円

2箇所目：〈外側：6mm×8mm〉+ 〈内側：2mm×3mm〉=6mm+48mm=54mm→■4,400円

合計：●4,400円+■4,400円-〈複数値引：1,100円×1〉=7,700円

ひび

修理部分の測り方



外側

内側

ひびの部分に紐をあて、その長さを測り、その合計から料金を出します。

〈外側：①〉+ 〈内側：②〉

ひびが複数ある場合は、全ての長さを合計し、その料金を出します。

PRICE / ひびの料金表 ※送料は別途かかります。

金・プラチナ(消し粉)

ひびのサイズの合計	40mm以下・・・¥3,300	340mm以下・・・¥11,550
	60mm以下・・・¥3,850	360mm以下・・・¥12,100
	80mm以下・・・¥4,400	380mm以下・・・¥12,650
	100mm以下・・・¥4,950	400mm以下・・・¥13,200
	120mm以下・・・¥5,500	420mm以下・・・¥13,750
	140mm以下・・・¥6,050	440mm以下・・・¥14,300
	160mm以下・・・¥6,600	460mm以下・・・¥14,850
	180mm以下・・・¥7,150	480mm以下・・・¥15,400
	200mm以下・・・¥7,700	500mm以下・・・¥15,950
	220mm以下・・・¥8,250	520mm以下・・・¥16,500
	240mm以下・・・¥8,800	540mm以下・・・¥17,050
	260mm以下・・・¥9,350	560mm以下・・・¥17,600
	280mm以下・・・¥9,900	580mm以下・・・¥18,150
	300mm以下・・・¥10,450	600mm以下・・・¥18,700
	320mm以下・・・¥11,000	

金(丸粉) / 上記価格+50%

銀(消し粉) / 上記価格 -15%

銀(丸粉) / 上記価格

弁柄、黒漆 / 上記価格 -15%

色漆 / 上記価格 +15%

拭き漆 / 上記価格-30% (※湯呑みや花器などの深い器のひびの修理は、内側は拭き漆仕上げにさせていただきます。)

<例>

修理内容：ひび2本、仕上げ：金消し粉

1本目→外側：25mm、内側：30mm

2本目→外側：35mm、内側：40mm

<料金シミュレーション>

※全てのひびの長さ(内側・外側)を合計し、その金額を出します。

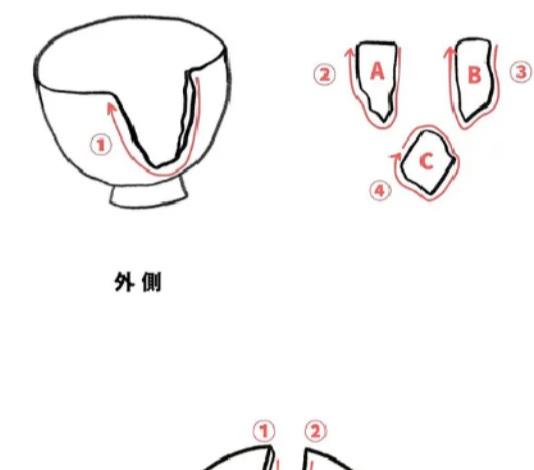
1本目：25mm+30mm=55mm

2本目：35mm+40mm=75mm

合計：55mm+75mm=130mm→6,050円

割れ

修理部分の測り方



外側

割れの外側の全ての側面(器なら高台が付いている側)に紐をあて、その長さを測り、その合計から料金を出します。

〈器本体：①〉+ 〈破片A：②〉+ 〈破片B：③〉+ 〈破片C：④〉

割れの破片数(器本体も含む)の料金を加算します。



このように真っ二つに割れている場合は、①②のように割れの両方の側面を作品の外側(器の場合は高台側)よりお測りください。

PRICE / 割れの料金表 ※送料は別途かかります。

「割れの数」の金額と「欠けのサイズの合計」の金額を足した合計金額がおおよその見積もり金額になります。

共通

割れの数(器本体含む)	2分割・・・¥0
	3分割・・・¥550
	4分割・・・¥1,100
	5分割・・・¥1,650
	6分割・・・¥2,200
	7分割・・・¥2,750
	8分割・・・¥3,300

<例1>

修理内容：割れ4片(器本体含む)、仕上げ：金消し粉

器本体：50mm

破片A：20mm

破片B：40mm

破片C：30mm

<料金シミュレーション>

割れの数：4片(器本体含む)→■1,100円

〈本体：50mm〉+ 〈破片A：20mm〉+ 〈破片B：40mm〉+ 〈破片C：30mm〉

=140mm→●6,600円

合計：■1,100円+●6,600円=7,700円

+

金・プラチナ(消し粉)

割れのサイズの合計	20mm以下・・・¥3,300	540mm以下・・・¥17,600
	40mm以下・・・¥3,850	560mm以下・・・¥18,150
	60mm以下・・・¥4,400	580mm以下・・・¥18,700
	80mm以下・・・¥4,950	600mm以下・・・¥19,250
	100mm以下・・・¥5,500	620mm以下・・・¥19,800
	120mm以下・・・¥6,050	640mm以下・・・¥20,350
	140mm以下・・・¥6,600	660mm以下・・・¥20,900
	160mm以下・・・¥7,150	680mm以下・・・¥21,450
	180mm以下・・・¥7,700	700mm以下・・・¥22,000
	200mm以下・・・¥8,250	720mm以下・・・¥22,550
	220mm以下・・・¥8,800	740mm以下・・・¥23,100
	240mm以下・・・¥9,350	760mm以下・・・¥23,650
	260mm以下・・・¥9,900	780mm以下・・・¥24,200
	280mm以下・・・¥10,450	800mm以下・・・¥24,750
	300mm以下・・・¥11,000	820mm以下・・・¥25,300
	320mm以下・・・¥11,550	840mm以下・・・¥25,850
	340mm以下・・・¥12,100	860mm以下・・・¥26,400
	360mm以下・・・¥12,650	880mm以下・・・¥26,950
	380mm以下・・・¥13,200	900mm以下・・・¥27,500
	400mm以下・・・¥13,750	920mm以下・・・¥28,050
	420mm以下・・・¥14,300	940mm以下・・・¥28,600
	440mm以下・・・¥14,850	960mm以下・・・¥29,150
	460mm以下・・・¥15,400	980mm以下・・・¥29,700
	480mm以下・・・¥15,950	1000mm以下・・・¥30,250
	500mm以下・・・¥16,500	1020mm以下・・・¥30,800
	520mm以下・・・¥17,050	

金(丸粉) / 上記価格+50%

銀(消し粉) / 上記価格 -15%

銀(丸粉) / 上記価格

弁柄、黒漆 / 上記価格 -15%

色漆 / 上記価格 +15%

OPTION / オプション

※以下に該当するものは追加料金をいただきます。



焼締 / 修理費合計+10%



貫入 / 修理費合計+10%



ガラス / 修理費合計+10%

特殊なもの(造形・テクスチャ)

→ / 修理費合計+10%



布着せ(取手や持ち手に使用します)

/ 1箇所につき+3,300円

OTHER / その他

・欠けは、2個目以降1箇所につき / -¥1,100

・割れは、内側を修理できないもの / -15%

・複合的な破損は、現物を査定させていただき、料金を確定いたします。

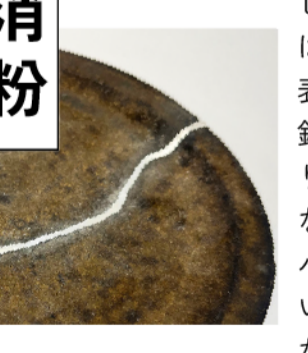
金継ぎ仕上げの詳細

金消粉



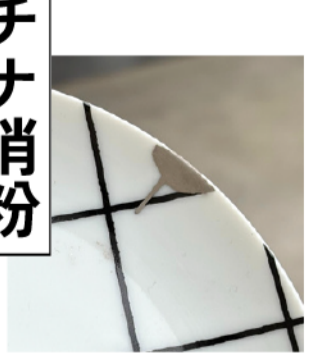
金箔を粉々にした非常に細かい粉です、広い面積に延びるように蒔けますが薄い層の為、摩耗に弱いという弱点があり、磨耗が進みません。金は不変の金属として古来より珍重されてきました。今に伝わる古の器物に使われている金も色褪せる事なく存在しています。あまり摩耗が激しくない場所にオススメです。

銀消粉



銀箔を粉々にした粉で、金よりも若干粒子が粗いです。銀は非常に白く美しい金属ですが、経年とともに少しずつ黒く変色していきます。これは硫化といって、簡単に説明すると表面に黒い汚れがついているだけで鉄などにおこる錆などの腐食ではありません。銀自体はほとんど変化しない安定的な金属なんです。※シルパーアクセサリを温泉地に持っていくと黒くなるのもこの硫化が原因なんです。

プラチナ消粉



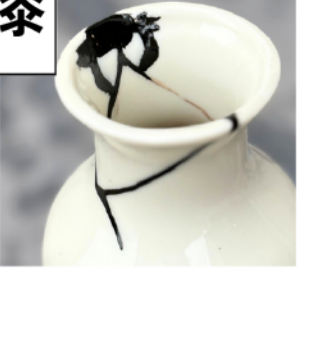
プラチナ箔を粉々にした粉です。銀と同じくらの荒さです。プラチナは金と同じく変色や変化をしない貴金属で、現在の粉の価格は金と同じくらいか若干安い傾向にあります。元々の色がネズミ色に近いものなので、こちらの色で銀を連想する方も多いですが実は逆なんです。

金丸粉



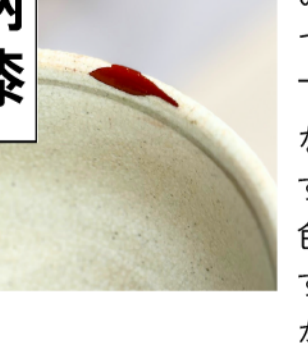
金の塊を鏝がけして丸く加工したもので、1号から15号までの荒さに振り分けられます。(数字が大きい程荒くなります、チルコロの物は1~3号粉です)厚みで考えると消粉よりも何倍か厚い層になり磨きも行うので金色が強く、摩耗にも強いものになります。消粉よりも延びないので、同じグラムでも蒔ける面積が狭くなってきます。

黒漆



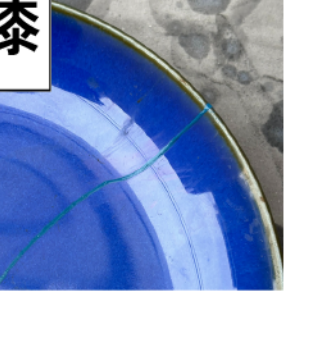
弁柄の焼成温度を変えて黒色にした物を透漆と練ったものです。マットな感じの黒色です。

弁柄漆



弁柄の酸化した第二鉄というもので簡単に言うた金属という物です。隠蔽力(いんべいりょく、下を覆い隠す力)が強く、頑丈になりやすいという特徴があります。透漆を練ってつきます。色味は透漆より赤くなるのですが、漆が段々透けてきて鮮やかになります。

色漆



透漆に顔料を練り込んで作ります。漆自体が鉛色のような色味をもっているため鮮やかな色になりやすく、漆特有の渋い色味になります。特に白漆は顕著でクリーム色のような黄色味のある仕上がりになることが多いです。経年や使用方法によって漆が透けてきます。出来上がり時の色味より鮮やかになる事もあります。赤、青、緑、黄、白などの色味があります。

銀丸粉



銀の塊を鏝がけして丸く加工したものです。基本的には金消と金丸のようなものですが、銀消と銀丸の最大の違いは磨き直しができる事です。色味がすんだ時に銀丸は磨き直すことで白い美しさを復活させる事ができます。